

学部カリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 1) 1年次では、共通教育科目を中心に履修させ、幅広い教養を身に付けることを目指し、フィールド基礎実習や産業体験をはじめとする、農学専門領域の学修動機付けへの寄与を目的とした導入的な科目を配置します。
- 2) 1年次から2年次にかけてプログラム分けを行い、プログラムごとの特色ある講義科目により、基礎的な理解度を向上させる教育を行います。
- 3) 2年次から3年次にかけて、応用的な専門教育を行うために、指導教員への配属を行います。充実した卒業研究を遂行するために、本学部の特徴であるフィールドトレーニング（実験、実習）により、実践力の向上をめざす科目を配置します。
- 4) 3年次から4年次にかけて、教員による、より密接な指導や学生間のコミュニケーションと相互指導により課題に取り組みながら、問題解決能力を養う科目を配置します。
- 5) 学生本人が主体的かつ積極的に自身の進路や将来目標の達成を見据えたカリキュラムを編成できるように、1年次から2年次にかけてキャリア教育科目を配置します。修学中は定期的にキャリアマップの作成・修正と学修の振り返りを行い、常に学修意義を認識できる教育を行います。
- 6) 将来の進路や取得を目指す資格への関連性の認識を容易とするための科目グループ（モジュール）を明示し、円滑な学修計画の策定を促す教育を行います。

学部ディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 1) グローバルな視点を持ち地域の農林業及び食品・生命科学関連産業を取り巻く様々な課題に積極性・主体性・協調性をもって果敢に取り組むことができる能力。
- 2) 農林業及び食品・生命科学関連産業に関する専門的な知識を有し、多様なコミュニケーション能力を備え、他者と協働する能力。
- 3) 関連産業が直面する課題を俯瞰的に捉え、専門知識と先進技術を駆使し、持続可能な農林業及び食品・生命科学関連産業の発展、地域社会の課題解決に貢献することができる能力。

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	1)		2)		3)		4)	
1) ~ 4)	共通教育科目 初年次教育科目 10単位 グローバル教育科目 6単位 教養教育科目 12単位		栽培技術論	作物学 I				
			果樹園芸学	熱帯作物学 I				
			観賞園芸学 I	農業機械学 I				
			植物栄養・肥料学 I	植物育種学				
	農学基礎(農業原理)	基礎化学入門 B	植物生理学	比較環境農学 I	植物生産学実験2			
	農業と社会	基礎生物学入門	植物病理学 I	農場実習 I	植物生産学実験3			
	フィールド基礎実習		蔬菜園芸学	植物生産学実験1	農場実習 II	農場実習 III		
		遺伝学	生物統計学	害虫学 I	植物生産学応用実験			
			農場実習(集中)		農業生産実地研修			
		環境共生学	土壌科学 I		農業気象環境学 I			
		基礎統計学 I	分析化学					
	食品化学	環境フィールド演習	応用微生物学	食品微生物学	食品衛生学			
		生物化学 A	酵素化学	植物性食品学				
		生物化学 B	無機化学	焼酎製造学				
		有機化学	栄養化学	動物性食品学				
		代謝生化学	細胞分子生物学	農産物流通論 I・II				
		食品機能学	食品分析化学実験	農産マーケティング論 I				
		青果保蔵学 I・II	食品生化学実験	農村計画学 I・II	質的研究方法論			
	フードシステム入門 I・II	農業経営学 I・II	微生物学実験	農業政策学 I・II	国際農業論 I・II			
		品質管理システム学 I・II	遺伝子工学実験	青果保蔵学実験	ポストハーベスト学 I			
		農産物価格理論 I・II	農業経済学入門 I・II	食品プロセス学実習	農村課題解決プログラム			
			食料経済学 I・II	産学連携プロジェクト I	産学連携プロジェクト II			
	専門基礎科目	専門科目(選択科目)		専門科目(選択科目)		専門英語	卒業研究	
5)・6)	1)		2)		3)		ディプロマ・ポリシー	
	キャリア1: 農学プログラム編修 キャリア2: 業界学習	キャリア3: キャリアデザイン I	キャリア3: キャリアデザイン II	キャリア4: 学外研修				
	植物 PG	環境 PG	食品 PG	農マネ PG	必修	選択必修		